

令和元年度 2 学期始業式式辞

いよいよ 2 学期が始まりました。今、こうして皆さんと無事に再開できる喜びに浸っています。この夏も新聞やテレビでは山や海や川で小学生や中学生そして高校生が大切な命を落としてしまった事故や事件が報道されていました。命を落とした人たちは誰一人としてこの夏に自分が命を失うとは思っていませんでした。いつ何時こうした痛ましい事故が起こるかわからない中、こうして元気な姿の皆さんを見ることの幸せを感じつつ、皆さんの命を守って下さった全ての方々に感謝を述べたいと思います。

さてこの夏休みの期間に本校からバレーボール部と卓球部の〇〇さんが全国大会に出場しました。1校それも市内で一番小規模校の本校から2組の全国大会出場者ができることは極めて稀なことでありまさに快挙だと思います。私は教頭先生と石塚先生と一緒に和歌山県でのバレーボールの全国大会と茨城県日立市で行われた卓球の関東大会に応援に行きました。両者とも日々厳しい練習をやり続け、様々な困難や苦勞を克服した末に掴んだ栄光だと思っています。簡単にできることではありません。しかし私は全国大会に出場できた理由は、単に厳しい練習を積み重ねたからだとは思っていません。皆さんは知っていましたか。バレーボール部の部員たちは、皆さんが知らないところで校舎内のワックスをかけてくれました。また先日は中庭を中心に雑草取りをしてくれました。ゴミ袋が20袋以上もの雑草を取ってくれたのです。見えないところで私たちや学校のために頑張ってくれていたのです。「人の役に立つ人になろう」は私がずっと伝え続けている言葉ですが、人のために頑張るという行為行動を積み重ねると自然と心が鍛えられていくのです。バレーボール部も〇〇さんも厳しい戦いを勝ち切って全国大会出場を勝ち取りました。ぎりぎりの場面で勝ち切れたその大きな要因は、日ごろから培ったバレーボール部員と〇〇さんの心の強さだと思っています。〇〇さんの関東大会での劣勢をはねのけた見事な逆転勝利は、〇〇さんの心の強さがとてもよく表れた例でした。そして両者を支えているのは、全国大会や関東大会に出られなくても同じ価値観を共有している全ての西中生の皆さんのお陰です。こんな大井西中学校になれたことが誇らしく感じます。

また本日皆さんが登校した時に見た正門付近の綺麗な花々は勝手に咲いているわけではありません。当たり前ですが、花は自分から喉が渴いたとか水が飲みたいとは言えません。誰かが気を配って30分～40分間の水やりをやらねばすぐに枯れてしまいます。本日、こうして見事な花々を咲かせているのは猛暑の中でも朝晩に水やりをやり続けて下さった矢吹さんをはじめとした地域の

皆さんのお陰です。地域の皆さんは、私たちの見えないところで学校のために頑張ってくれているのです。何かを成し遂げようとした時、自分の時間を削ってでもやり続ける心、人や周囲のために身を粉にして頑張る強くなやかできけない心が必要なのです。そして私たちは実に多くの皆さんに支えていただいていることを忘れてはいけません。

さあ2学期をどのように過ごすかは皆さんの気持ち次第です。2学期は合唱祭や修学旅行があります。時には思ったように物事が進まないこともあるでしょう。気持ちが入らず真面目に歌わない人や好きな人と同じ班になれないことも出てくるかもしれません。そんな時の皆さんの前向きな姿勢に期待します。不平や不満を言うのではなく自分なら何ができるだろうかと考え行動する人になって下さい。いくら不平や不満を言っても物事は何も変わりません。諦めるのではなく自ら行動を起こす人が増えていけば、必ず集団や学級や学校は変わっていきます。その小さな行為行動の差がとても大きな差となっていくのです。人の役に立つ行為行動を積み重ねて自らの心を鍛え、物事の捉え方や感じ方を柔軟にすることで人は心が安定して幸せになれます。そんな2学期であってほしいと希望します。そして12月の終業式で再び皆さんと会い、充実した2学期だったという声がたくさん聴けることを期待して2学期始業式の式辞と致します。

ふじみ野市立大井西中学校

山 崎 祐 一